

キャラクター名 フェルザール・アンリライト (深町 史美 カチ マ) プレイヤー名 \_\_\_\_\_

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	サロゲート	Lv.1:	サロゲート	性別	女性
称号クラス				年齢	16 (27)
種族	アーシアン			境遇	師匠
出自 (効果)	しがらみ			目標	契約

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	17	13	9	8	16	6
ボーナス	2	5	4	3	2	5	2
クラス修正	0	2	1	0	1	1	1
他修正							
能力値	2	7	5	3	3	6	3

HP	62
MP	63
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	グレイブニル	至近	-2	11					
左手	ファインダガー	至近	0	6	0	0	0	0	0
頭部	グリーンベレー	/	1			1			
胴部	破壊の衣	/				4			
補助	バトルマント	/				3			-1
装身具	手入れ道具	/							
能力値			7	0	5	0	6	8	7
スキル									
その他			2	61	-1			1	
総計(右)			8	72					
総計(左)			10	67	4	8	6	9	6
総計(両)									m
ダイス数			4 d	3 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ポーションホルダー	
冒険者セット	
調理用具	
ハイMPポーション×2	
肉×3	
野菜	
ランタン	
漆黒の星	
アスタロト	

現在重量:	13	所持金:	1095	預金・借金:	1500
-------	----	------	------	--------	------

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アーシアン:転生	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	タイミングがメイキングのアーシアン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果:	武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]							
	1							
効果:								
ディバインコール	1	6	セットアップ					
効果:	召喚具を召喚する。							
	1							
効果:								
ホーリースマイト	5	4	マイナーアクション					
効果:	武器攻撃のダメージをSL×3+精神のダメージを与える							
ディバインスマッシュ	1		マイナー					
効果:								
	1							
効果:								
カッティングエッジ	3	3	ムーブアクション					
効果:	武器攻撃のダメージ+SL×3							
	1							
効果:								
ピアシングストライク	1	5	ダメージロール直前					
効果:	武器攻撃のダメージダイス+SL							
	1							
効果:								
アポスル:ソード	3	-	パッシブ	自身	-	-		
効果:	武器攻撃のダメージをSL×3							
スペシャライズ:召喚具	1	-	パッシブ	自身	-	-		
効果:	召喚具の命中とダメージを+SL							
トゥルースマイト	★	-	パッシブ	自身	-	-		
効果:	ホーリースマイトの効果を変更							

2024年 23時35分 日本 N市 マンションにて

平日の深夜前、密室の静かなはずの暗い部屋でぱちぱちと弾ける音が鳴り響く  
「……もうそろそろかな。」誰もいない部屋でひとりだけでにやにやと女性  
彼女は目の前にある火の付いた炭が入った壺を前に座りながら待っている  
どれくらい時間がたったのかももう煙は充満しているのだろうか『いつ死ぬのだろうか』  
静かな部屋の中で死を待たせながら脳内であらゆる思考や感情が流れていくだが彼女にはもう  
気力も活力も体力もなくなってきた雑念が頭の中に響き続ける  
「6回も試せば流石になってきたのかな…それとまだ恐怖心が薄れたのかでももうどうでもいいや、早く終わりたいこの現実を終わらせて」  
「何も感じずに消えたい…だから…」  
意識が朦朧として走馬灯が走る。今までの人生を思い出し消えていく意識の中  
「ああ、本当にくだらない人生だった」  
最後に思った感情に対して誰かが応えるように声をかけてきた

『ならそのくだらない人生を私に頂戴。私が使ってあげるよ。』  
『死にたいのに我儘な魂だ、なら契約だ、私が新しい人生をあげよう。代わりに私を解放してくれ』  
『私はアスタロト大悪魔だ、そうつまり君は悪魔と契約したわけだ』  
『だが、今のその魂では私の名は耐えられないだろう。』  
『だからまた会うまで私の事は忘れるがいい…その時が来るまで待っているぞ深町史美』

